WebEdge 3.8.2J 補遺マニュアル

マニュアル・バージョン3.8.2

2004年 5月



目次

1.	新しく追加された機能について	1
2.	SMTP 認証	1
3.	APOP	1
4.	IMAP	2
4	.1. IMAP クライアントとしての機能	3
	4.1.1. Sent フォルダ	4
	4.1.2. Trash フォルダ	4
	4.1.3. Drafts フォルダ	5
	4.1.4. フォルダの作成 / 削除	5
4	.2. WebEdge を IMAP としてお使いになる場合のご注意	7
5.	追加情報	8
5	.1. アドレス帳検索をご利用になる場合	8
5	.2. Post.Office と WebEdge と連携させていて、Post.Office のアカウントを削除する場合のご注意	8
6.	WebEdge 3.8.2J の制限事項	9
6		9
6	.2. 階層的なフォルダを削除する場合の注意	9

1. 新しく追加された機能について

WebEdge 3.8.2J では、次の機能が新たに追加および修正されました。

- SMTP 認証
- APOP
- IMAP

これから説明する新機能の設定は、mobility.cfg ファイルに対して行います。 通常、mobility.cfg ファイルは、C:¥Program Files¥WebEdge¥config_mdn¥mobility.cfg にあります。

2. SMTP 認証

Post.Office に、SMTP 認証機能が追加されたことに伴い、メールクライアントとしての WebEdge にも SMTP によるメール 送信時に、SMTP 認証を行う機能が追加されました。

Post.Office 側の[SMTP 認証の設定]で[SMTP 認証を有効にする]を[はい]に設定した場合は、WebEdge でも SMTP 認証を有効にしなければ、WebEdge からメール送信できません。

SMTP 認証機能を使う場合は、mobility.cfg ファイルの SMTP_AUTH_ENABLED と SMTP_AUTH_REQUIRED を true に設定します。

<u>SMTP 認証機能を有効にする</u> SMTP_AUTH_ENABLED=true SMTP_AUTH_REQUIRED=true

<u>SMTP</u>認証機能を無効にする SMTP_AUTH_ENABLED=false SMTP_AUTH_REQUIRED=false

この設定を変更した場合は、WebEdgeの再起動を行ってください。

3. APOP

Post.Office に、APOP機能が追加されたことに伴い、メールクライアントとしての WebEdge にも POP でもメール受信時に、 APOP でパスワードを送出する機能が追加されました。

POP によるパスワードの送出は、平文のまま行われるので、安全ではありません。APOP を利用すればパスワードは暗号化に よって毎回異なるものになりますので、POP でパスワードを平文のまま送出するのに比べてセキュアになります。

APOP を使う場合は、mobility.cfg ファイルの APOP_ENABLED を true に設定します。

<u>APOP を有効にする</u> APOP_ENABLED=true

<u>APOP を無効にする</u> APOP_ENABLED=false

この設定を変更した場合は、WebEdgeの再起動を行ってください。

4. IMAP

Post.Office に、IMAP サーバ機能が追加されたことに伴い、メールクライアントとしての WebEdge も IMAP クライアントとしての機能を修正し、チューンアップしました。

WebEdge を IMAP クライアントとして利用する場合には、mobility.cfg ファイルの MSG_STORE_PROT を Imap に設定 するか、WebEdge の管理者画面の[メール/DB]をクリックし、[デフォルトメールボックスプロトコル]を[IMAP]に変更します。

<u>IMAP を有効にする</u> MSG_STORE_PROT =Imap

<u>POP を有効にする</u>

MSG_STORE_PROT =Pop

HEige. W	bEdge 設定	
サーバー	デフォルト メールボックス	/SMTP サーバー
taitu L	フォルトシー ポックスプロ [第77]回	
1- 7	741L1- POP La	
± n	TP 19 - Helde aberrecht.	
77	2月14日 (高) 第二日のイン (1994) 第二日のイン (1994) 2月18日	ものはは先として、デフォルトで連邦的 のです。ユーザーのメールサーバーキ 使用する場合は、生命にします。
26	22 (125)	<u>[847</u>]
141 2	00-033. Damman Tanton in di Neto Romai ed 8.04 Model to Den Yednolike: Datarita, di Hat) Photo vel

図 1 [メール/DB]画面

この設定を変更した場合は、WebEdge の再起動を行ってください。

<u>4.1. IMAP クライアントとしての機能</u>

IMAP クライアントとして WebEdge をお使いになると、POP クライアントでは利用できなかったフォルダ機能が利用できま す。フォルダ機能には、以下のようなものがあります。

- 送信済みメールを格納するための Sent フォルダ
- 削除メールを保管しておくための Trash フォルダ
- 下書きメールを保管しておくための Drafts フォルダ
- フォルダの作成、削除(日本語のフォルダ名およびサブフォルダも利用可能です)

Habitige State	C 受信箱 T ///#**		
<u>メッセージ作成</u> - <u>フォルター質</u> Drafts	新规 <u>累</u> 进人 E	H1 11&	芝業群
Sent Insh	TATAM TATAON	webudgetest	-4 X
0/27/2E	※申】業用されたメッセージ まて来時」このフォルダからのメッセージ	移動先のフォルダ	0+676201231
过 <u>22/82</u> 股票	490-00081 Artistath54-	0-2%17788#.17	
CILZ	Instrument & 2th Mindred Sta Opera Tholonological Cosponsition. 41 High	ti Manimal Callo	

図 2 [WebEdge 受信箱]画面

WebEdge を IMAP モードにして Post.Office にログインすると、自動的に Sent、Trash、Drafts の各フォルダを作成します。 これらのフォルダは、WebEdge が予約フォルダとして扱いますので、フォルダの名前の変更および、フォルダの削除はできま せん。また、新たに 予約フォルダと同名のフォルダを作成することはできません。 4.1.1. Sent フォルダ

[メッセージの作成]画面で、[送信メッセージの保存]にチェックをつけて送信すると、送信したメールが[Sent フォルダ]に格納されます。

Habbar Sizin 2011-0445 - Data Satt Joah	<u>-1メッセージ作成 201 Anoth</u> 現先 783.000 件名 cc bcc 日暮らの添加 「送送ハセージの保存	7962#	
5225 02701 52262 5262			[送信メッセージの保存] にチェックします
	割サンデイルを含加するには、中に時間1000パングパ 視点す。120回日ビタリングルます。 ●第二		
	eni Arota	3484295 785080	
	42/100-022, Operative Typines Inc. All Rights Reserved Internet & 20 Minhell In Own Technology Composition. 4 Highly Name with	ait	

図 3 [WebEdge メッセージ作成]画面

4.1.2. Trash フォルダ

POP では、メールの削除を行うと、直接メールが削除されていましたが、IMAP では直接メールは削除されません。メールの 削除を行うと、そのメールは一旦 Trash フォルダに保管されます。

Trash フォルダでメールの削除を行うと、物理的にメールは削除され、一度削除したメールは元には戻りませんのでご注意ください。

4.1.3. Drafts フォルダ

[メッセージの作成]画面で、[送信]ボタンを押さずに、[下書きの保存]ボタンを押すと、メールは[Drafts]フォルダに格納されます。

Hiblight	ニー メッセージ作成 きり きょう	1 1469295 Fådtat	
型活油 シュビージれ成	現先 件名	E 741.2m	
-7311/2-1	ec:		
Sent Trash	「夏名の追加」「送信人・セージの保存		/── [下書き保存]をクリ
花湯		/	します
10070F			I
17040			
ALC: NO.		/	
100 m		/	
SHZ.			
Siz	恐行ファイルを追加するには 小 11世紀1 モクリックル	COMLER	
SHZ .	割中27イルを高加するには、11、1時間をクルックル 視します。125時間を与いう久ます。		
SAZ.	港ロウァイルを追加するには、中1 10時間 をクリックル 視します。121 間目11 をクリックルます。 ●毎	C 7HAER	
<u>OLZ</u>	割けつでんを追加するには (1)「使用」をクルック、 視します。12)「使用」をクルックします。 「「「「「」 まれ」、キャンセル」		

図 4 [WebEdge メッセージ作成]画面

再び編集して送信する場合には、[Drafts] をクリックして、一覧の中から再編集したいメールをクリックすると、メッセージの 作成画面が表示されます。

4.1.4. フォルダの作成 / 削除

[フォルダー覧]メニューをクリックすると、フォルダの一覧が表示されます。

フォルダの一覧には、Sent、Trash、Drafts の各フォルダに格納されているメッセージの総数と、未読のメッセージ数が表示されます。

1731	ダー覧	7+10	and .	
ジャルガ フォルガ	が甘っぴ	825	- 23	8100
rillin-th Drafts	0	0	12	×
affa Sent	0	0	17	×
Itout	0	0	2	- 3 C
2月 合計	0	0		
Control of the second s	a Donkes Inc. All North A	solution, of Heating	increased of	1082
2002 12				
2				
2%2 Z				
2842 Z				

図 5 [WebEdge フォルダの一覧]画面

新たにフォルダを作成する場合は[フォルダの作成]ボタンをクリックします。すると、次のようなフォルダ名入力画面になります。

2 7476 S 07188K	
COMB-022 Dearman Forder for all Spin Research Comb-022 Dearman Forder for all Spin Research Research & Exception Line (Comparison Consection of Parts Research 2022	
	新しいフォルジタに CONNECTION DE LE CONTRACTOR

図 6 [WebEdge フォルダの作成]画面

フォルダ名には、アルファベット、数字、日本語などが使えますが、以下の文字は、使用できません。 ¥(円マークまたはバックスラッシュ) /(スラッシュ)(サプフォルダとの区切り文字に利用できます) :(コロン) ;(セミコロン) .(ピリオド) *(アスタリスク) ?(クエスチョンマーク) "(ダブルクォーテーション) <>(山括弧) |(縦線) @(アットマーク) %(パーセント) #(シャープ)

また、フォルダの中にサブフォルダを作成する場合は、親となるフォルダを作成した後、[フォルダの作成]のフォルダ名に、次のように入力します。

親フォルダ名/サブフォルダ名

例えば、Customer というフォルダ名の中に、Opentech というサブフォルダを作成したい場合は、次の手順で作成できます。

[フォルダの作成] で、"Customer" と入力して [OK] をクリックします。
[フォルダの作成] で、"Customer/Opentech" と入力して [OK] をクリックします。

必ず、親フォルダとサブフォルダは、"/"(スラッシュ)で区切る必要があります。親のない状態では、サブフォルダは作成できま

せん。フォルダ名を変更する場合は、[フォルダの一覧]の 📴 アイコンをクリックして、新しいフォルダ名を入力してください。

フォルダを削除する場合は、[フォルダの一覧]のフォルダリストの右端にある[X]アイコンをクリックしてください。 たとえば、削除対象フォルダの名前が "TEST" であれば、「"TEST" フォルダを削除します」という旨のメッセージが表示され、 削除してもよいか尋ねられますので、削除してもよければ、[OK]ボタンをクリックしてください。

削除の際、フォルダにあるメールは、すべてTrash に保管されますが、フォルダはTrash に保管されません。一度削除したフォルダは元には戻りませんのでご注意ください。

尚、親フォルダ / サブフォルダのように階層的になっているフォルダでは、そのフォルダを削除する場合、必ず階層の最下位に あるサブフォルダから削除をして下さい。(A / B とあった場合は B から削除する)親フォルダごと削除すると、フォルダ情報や メッセージ情報が壊れることがあります。

4.2. WebEdge を IMAP としてお使いになる場合のご注意

WebEdge を IMAP クライアントとしてお使いになる場合は、同じ Post.Office アカウントを用いて、次のようなことをしない でください。メールボックスの情報が破壊される恐れがあります。

- 他のメールクライアントと同時に利用する(WebEdge を利用している最中に他のメールクライアントでも メールを取得する。そのメールクライアントの受信プロトコルが POP であっても同様です)
- 別のWebEdge ログイン画面から利用中のアカウントで再度ログインし同時に利用する

5. 追加情報

5.1. アドレス帳検索をご利用になる場合

WebEdge のアドレス帳検索で、LDAP Server に対して検索を行います。デフォルトでは、カーネギーメロン大学の public LDAP Server に対して、検索を行うことができます。他の LDAP Server への検索を行いたい場合は、mobility.cfg の LDAP_DIRS に、以下の書式で、検索対象を追加してください。

例) ldap.opentech.co.jp サーバに、サーチパス dc=opentech,dc=co,dc=jp で検索する <option>ldap.opentech.co.jp/dc=opentech,dc=co,dc=jp</option>¥r¥n

検索対象は、HTML の SELECT タグを構成しますので、<option>~</option>で囲んでください。未尾に ¥r¥n と記述する と、HTML ソースの中で改行されます。Post.Office の WebEdge のログイン認証に使われる LDAP Server を指定したい場合 は、次のような指定になります。

例) postoffice.opentech.co.jp サーバで稼働中の Post.Office の LDAP Server を検索する <option>postoffice.opentech.co.jp:10389/cn=person,dc=my-host,dc=jp</option>¥rn

この設定を変更した場合は、WebEdgeの再起動を行ってください。

5.2. Post.Office と WebEdge と連携させていて、Post.Office のアカウントを削除する場合の

<u>ご注意</u>

Post.Office と WebEdge を連携させている時に、Post.Office 側のアカウントを削除しても、現在のバージョンの WebEdge で は、WebEdge 側でアカウントごとに設定できる[ユーザオプション]の情報は、自動的に削除されません。WebEdge の管理者サ イトの[ユーザ管理]で個別にユーザオプションの情報を削除する必要があります。

WebEdge の[ユーザ管理]で、ユーザオプションの情報を削除しないまま、一度削除したアカウント名と同じアカウント名を Post.Office 側で作成し、WebEdge からログインすると、以前 WebEdge で作成されていたユーザオプションがそのまま引き 継がれて使用されますので、ご注意ください。

6. WebEdge 3.8.2J の制限事項

6.1. IMAP で検索を行うと、未読のメッセージが既読になる

IMAP モードでメッセージの本文に対する検索を行うと、すべてのメッセージを取得した上で、メッセージ本文内のテキストの 検索を行うので、未読メッセージが既読になります。

6.2. 階層的なフォルダを削除する場合の注意

親フォルダ / サブフォルダのように階層的になっているフォルダでは、そのフォルダを削除する場合、必ず階層の最下位にある サプフォルダから削除をして下さい。(A/Bとあった場合はBから削除する)親フォルダごと削除すると、フォルダ情報やメッ セージ情報が壊れることがあります。

(C) 1993-2002, Openwave Systems Inc. All Rights Reserved.(C) 2002 Open Technologies Corporation. All Rights Reserved.Improved & Distributed by Open Technologies Corporation.